

## 議 事 録

1. 会議の名称	池田市文化財保護審議会 歴史文化基本構想専門部会		
2. 開催日時	平成29年10月17日(火) 午後2時00分～午後4時00分		
3. 開催場所	中央公民館 2階 会議室A		
4. 出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈委員〉</p> <p>室田卓雄会長 印藤和寛副会長 仙海義之委員 吉田高子委員 吉原忠雄委員</p> <p>〈専門委員〉</p> <p>井殿恵二委員(元石橋南小学校校長) 津田信幸委員(八坂神社宮司) 中田にぎわい戦略室室長兼空港・観光課課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈事務局職員〉</p> <p>田淵教育長 齋藤教育部部長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事 関根生涯学習推進課学芸員</p> <p>〈オブザーバー〉</p> <p>宮前保子氏((株)スペースビジョン研究所取締役所長)</p> </td> </tr> </table>	<p>〈委員〉</p> <p>室田卓雄会長 印藤和寛副会長 仙海義之委員 吉田高子委員 吉原忠雄委員</p> <p>〈専門委員〉</p> <p>井殿恵二委員(元石橋南小学校校長) 津田信幸委員(八坂神社宮司) 中田にぎわい戦略室室長兼空港・観光課課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長</p>	<p>〈事務局職員〉</p> <p>田淵教育長 齋藤教育部部長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事 関根生涯学習推進課学芸員</p> <p>〈オブザーバー〉</p> <p>宮前保子氏((株)スペースビジョン研究所取締役所長)</p>
<p>〈委員〉</p> <p>室田卓雄会長 印藤和寛副会長 仙海義之委員 吉田高子委員 吉原忠雄委員</p> <p>〈専門委員〉</p> <p>井殿恵二委員(元石橋南小学校校長) 津田信幸委員(八坂神社宮司) 中田にぎわい戦略室室長兼空港・観光課課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長</p>	<p>〈事務局職員〉</p> <p>田淵教育長 齋藤教育部部長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事 関根生涯学習推進課学芸員</p> <p>〈オブザーバー〉</p> <p>宮前保子氏((株)スペースビジョン研究所取締役所長)</p>		
5. 欠席者	清基英昭委員 橘高和明委員 岡本尚子委員 田中歴史民俗資料館館長		
6. 議題	池田市歴史文化基本構想の充実・策定について ほか		
7. 議事経過	別紙のとおり		
8. 公開・非公開の別 ※非公開の理由	公開		
9. 傍聴者数	0名		

## 開 会

・田淵教育長、室田会長より挨拶

### 池田市歴史文化基本構想の充実・策定について

**事務局** 前回の審議での意見を踏まえ、事務局で対応。まずは、HPの作成、「概要版」の作成、広報誌への掲載などの広報活動。また、アンケートの実施態様については、説明を冒頭につけ、内容に関しても平易になるよう見直し。さらに、歴史や地元資源の保護や利活用に関する取り組みをされている地域コミュニティ推進協議会を対象にヒアリングを実施。結果は、昨年策定した歴史文化基本構想へ随時反映させ、構想の末尾にも納める予定。

**委員** 今回実施した調査は、公開できるような資料としてまとめると良い。市民の受けとり具合は事務局としてどんな風感じたか。

**事務局** 少しとっつきにくいというような反応はあったが、歴史の重要性について率直に語っていただいた。この構想がうまくマッチングしたら大きな効果が得られるのでは。

**委員** アンケートで、要望のようなものも複数出てきている。他課へ要望を回すなどは。

**事務局** 今現在は、個別の要望に対応したり、他部署に働きかけたりといったことは想定していない。落ち着いたら、そのあたりも考えたい。

**委員** この構想には、指定文化財があまり反映されておらず、結果、中世前の歴史が抜けている。

**会長** 歴史文化保存活用区域の設定と保存活用計画の基本方針について説明を。

**オブザーバー** 保存活用区域は、「まち・産業・人が織り成す<事始めのまち>」などの条件から池田在郷町とし、他にも植木や住宅などのテーマに沿ったサブ拠点を設定した。歴史文化遺産の保存・管理に関しても、「探る・学ぶ」「活かす」「引き継ぐ」という3つの方針を提案。「歴史文化を活かしたまちづくり」のためには、様々な地域づくりとの取り組みが必要にもなってくる。

**委員** 意見は様々あるかと思うが、1つの妥当な提案であると言えるのでは。また、保存活用に向けては、「学ぶ」というプロセスが重要。市民自身が価値を理解した上で、活用や保存をしようという思いが湧いてくるはず。

**委員** 他に無い池田の特長というのは、古い街に近代が融合されているところ。近世の在郷町の中に近代の池田町が入り込んでいるという池田の特長が分かれば良いのでは。

**委員** 空間的には絞り込まれているが、時間的な重なりがあまり整理されていないので、どう見えるようにしていくかがもう一工夫ではないか。

**オブザーバー** 区域の中の時間軸と空間軸を整理していくことで、見ている方に分かりやすいように、かつ、近世の中に近代が織り込まれ、それが非常に池田らしい特徴になっており、それを誇るべき街であるということが分かるように、工夫したい。

**会長** 時間的な流れを考慮して手直しするともっと良くなるはず。小学校に「わたしたちのまち池田」という副読本がある。先生も忙しいようだが、こういった内容については、市民と同時に子どもたちにも関心を持ってほしいし、池田の将来に向けて、さらに先生方にも是非しっかり学んでほしいという思いがある。

**委員** 今、副読本の話が出たが、学校の教科書とのリンクという視点を少し持てば良いのでは。街道や酒造り、弁慶の泉など、授業と関連する見えそうな項目があれば、現場の教室や子どもにも関心を持ってもらえるのでは。学校が一番広がりやすいかとは思う。

**会長** 市民への啓発のため、市のほうからも池田の歴史や文化をもっと発信してほしい。

**委員** 池田の文化史上重要なものだけれど、市民とのつながりが途切れてしまっているものが市内にはたくさんある。どこかで取り入れられるように考えてもらえれば。

**委員** 公開を積極的に行っていくことは大切だが、文化財の性質上、常に公開できる状態ではないものも多い。4K画像での複製などの方法によりいつでも見られるという機会を作っていくのも、文化財自体を体験しよう、文化財に対して価値を見出していこうという機運を高める一助になるのではないか。

**会長** 貴重なご意見を多くいただいた。事務局には、本日の意見を取り入れ、さらなる充実に向けて改訂してほしい。

**閉 会**